

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成27年度】

(①歴史・文化施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市清水邸			担当課名	文化振興課	
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市清水邸条例					
	(2)施設設置目的	清水邸の自然、文化及び歴史を市民に広く開放するとともに、茶道文化の普及及び伝承を図り、もって市民文化の発展に寄与する。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	清水邸庭園:面積2,869㎡、茶室「湧水亭」:建築面積154.82㎡。茶室の呈茶は有料であるが、庭園は無料で公開している。					
	(4)施設建設年度	平成4年度					
	(5)耐震性能の有無	有					
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)						
	(7)指定管理者名	掛川観光協会大須賀支部					
	(8)指定期間	平成26年4月1日 から 平成29年3月31日 まで					
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成27年度)						
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	2,490	2,346	2,300	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	3,388	3,532	3,777		
	内訳(施設・設備ごと)	入館者(庭園入場・呈茶サービス)	2,268	2,454	1,867		
		使用者(茶室使用者)	1,120	1,078	1,910		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	A平日昼間			87.5%		入館者日数(168日)／開館日数(192日)
		B平日夜間			-		
		C土日祝昼間			98.3%		入館者日数(113日)／開館日数(115日)
D土日祝夜間				-			
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	871	771	788			
	(3)運営日数	307	307	307	309		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.0	1.0	9.0	9.0	

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	2,027,395	1,987,860	2,209,267	2,213,890	
	②印刷費	0	9,234	0	36,000	
	③通信費	98,733	105,493	93,624	100,211	
	④事務用品、旅費、図書費など	63,835	82,799	65,053	90,000	
	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	16,099	5,972	7,438	6,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	746,231	530,984	601,531	634,451	
	計	2,952,293	2,722,342	2,976,913	3,080,552	
対前年度増減率			△ 7.8	9.4	3.5	
区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,313,990	4,949,448	4,720,224	4,793,448	
	緑化管理業務	1,607,760	4,041,296	4,041,296	4,040,000	
	防犯・防火管理業務	147,420	151,632	151,632	227,448	
	空調機保守業務	32,550	31,104	0	0	
	池清掃管理業務	526,260	526,296	527,296	526,000	
	庭園清掃業務	0	199,120	0	0	
	②修繕費	215,587	197,954	359,760	250,000	
	③光熱水費	318,130	301,256	313,103	246,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	0	0	0	0	
計	2,847,707	5,448,658	5,393,087	5,289,448		
対前年度増減率			91.3	△ 1.0	△ 1.9	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		5,800,000	8,171,000	8,370,000	8,370,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		50.9	33.3	35.6	36.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		1,060,500	1,124,490	838,380		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		35.9	41.3	28.2		

III 収支差額の状況 **注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入	1,060,500	1,124,490	838,380	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	5,800,000	8,171,000	8,370,000	
収支差額 a)－b)	△ 4,739,500	△ 7,046,510	△ 7,531,620	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a)－トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入	656,650	0	265,273	甘酒、物販
b) 自主事業の支出	599,192	0	112,420	
収支差額 a)－b)	57,458	0	152,853	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	2	* 年間を通じたイベント等を実施や自主事業の実施等により、より多くの方に来館いただけるようにする必要がある。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%	96.9%	3	
B サービス内容の満足度	90%	99.0%	3	
C 従業員応対の満足度	90%	96.7%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%	93.4%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%	-	0	* アンケート未実施のため、次年度以降確実に実施すること。
F 施設の利用者数	2,346人	3,777人	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	* 現状の収入源が入館料と使用料であり、値上げが難しい。 * 昨年より新たに自主事業として甘酒の追加し、収益を上げることができた。 * イベント等により入館者数を増加し、入館料収入の増加も図らなければならない。
2	収支均衡している。前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	* 特に危険な箇所はないが、危険箇所がないかを日頃から確認し、急な事故等の対応を常に心得ておくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	1	* 自主事業で甘酒を販売することにより昨年より収益を上げることができた。呈茶を遠慮する方に向けてのサービスを検討していく。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	* 地元の方々と協力し実行しており、特に問題はない。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	23	/ 33
----	----	------

V その他自由意見

--